

2024 年 12 月 19 日

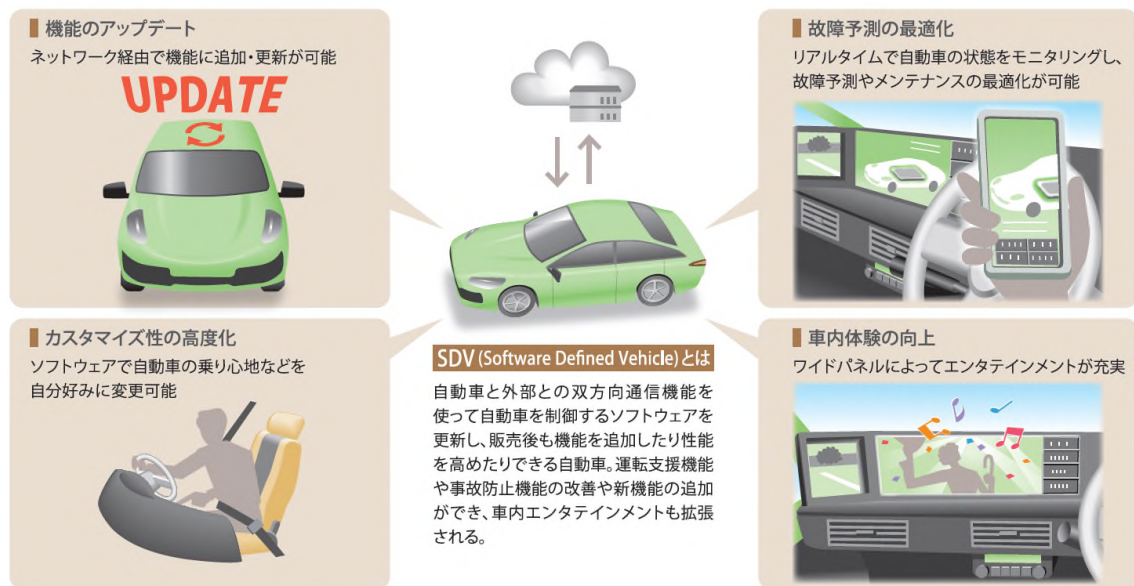
報 道 資 料

一般社団法人電子情報技術産業協会

SDV の進展に伴う車載半導体・電子部品市場の需要額見通しを発表

- SDV（Software Defined Vehicle）は 2035 年に世界で 6,530 万台市場となる見込み
- 2035 年における車載半導体世界需要額は 1,594 億ドルで、SDV 化により 2025 年比で 185%の伸長となる見通し（そのうち SDV 半導体需要額は 1,186 億ドル）
- 2035 年における車載電子部品世界需要額は 171 億ドルで、SDV の進展により 2025 年比で 1.5 倍に拡大する見通し（そのうち SDV 電子部品需要額は 118 億ドル）

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 津賀 一宏 パナソニック ホールディングス株式会社 取締役会長）は、本日、SDV の進展に伴う車載半導体・電子部品市場の需要額見通しを発表しました。本調査は、主要国政府の政策や海外先進企業の動向など公知情報の分析と、国内外先進企業へのヒアリングをもとに推計したものです。



2035 年における世界の新車生産台数は 9,790 万台、そのうち SDV は 6,530 万台で SDV 比率は 66.7%になると見通しました(*1)。企業間連携による技術革新やプラットフォーム化の加速、日本をはじめとする各国政府の強い後押しへの期待を背景に、2030 年頃に世界中の自動車メーカーが SDV を本格導入すると予想されることから、市場が急速に拡大していきます。SDV 化により今後はソフトウェアの性能が競争力を大きく左右することから、電装機器構造は一層進化し、搭載される半導体や電子部品も高性能化して、その存在感が高まる見込みです。

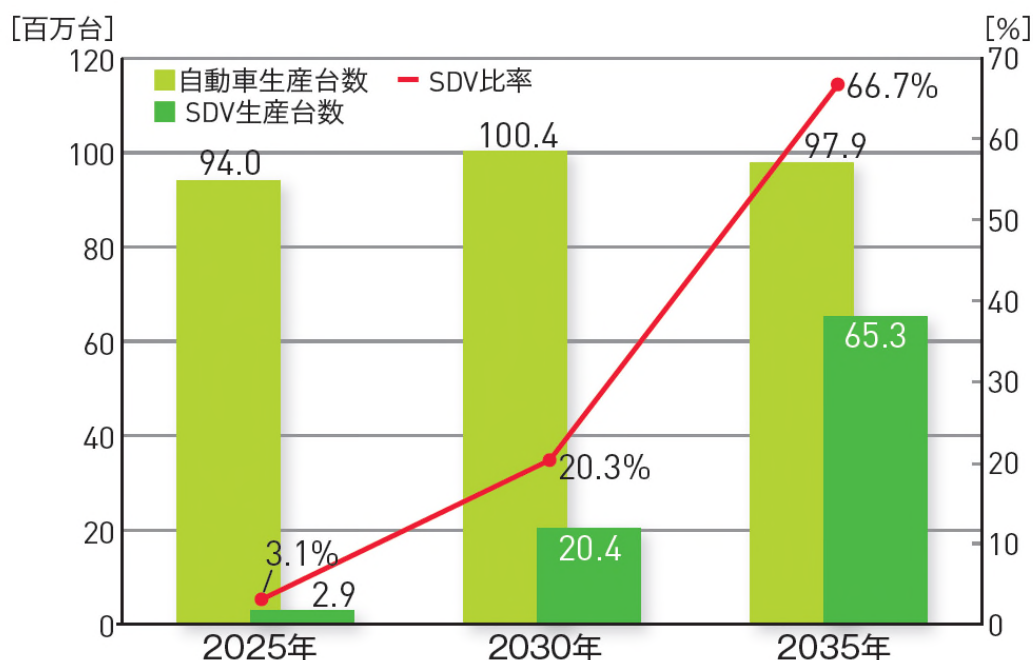
2035 年の世界の SDV 向けの半導体需要額は 1,186 億ドルに成長すると予測、これが牽引して車載半導体需要額は 1,594 億ドルとなり、2025 年比で 185%の伸長を見通しました(*2)。ECU（電子制御ユニット）で使われるロジック IC や高性能 MCU/MPU（マイコン/マイクロプロセッサ）だけでなく、パワー半導体やアナログ IC の増加も期待されています(*3)。

次に世界の SDV 向け電子部品需要額は 118 億ドルに成長すると予測、車載電子部品全体で見ても 2025 年比で 1.5 倍の市場拡大となり、そのうち SDV 向けが約 7 割に達する見通しです(*4)。特に抵抗器とコンデンサの成長が著しく、これらが SDV 向け電子部品需要額の約 8 割を占める見通しとなりました(*5)。

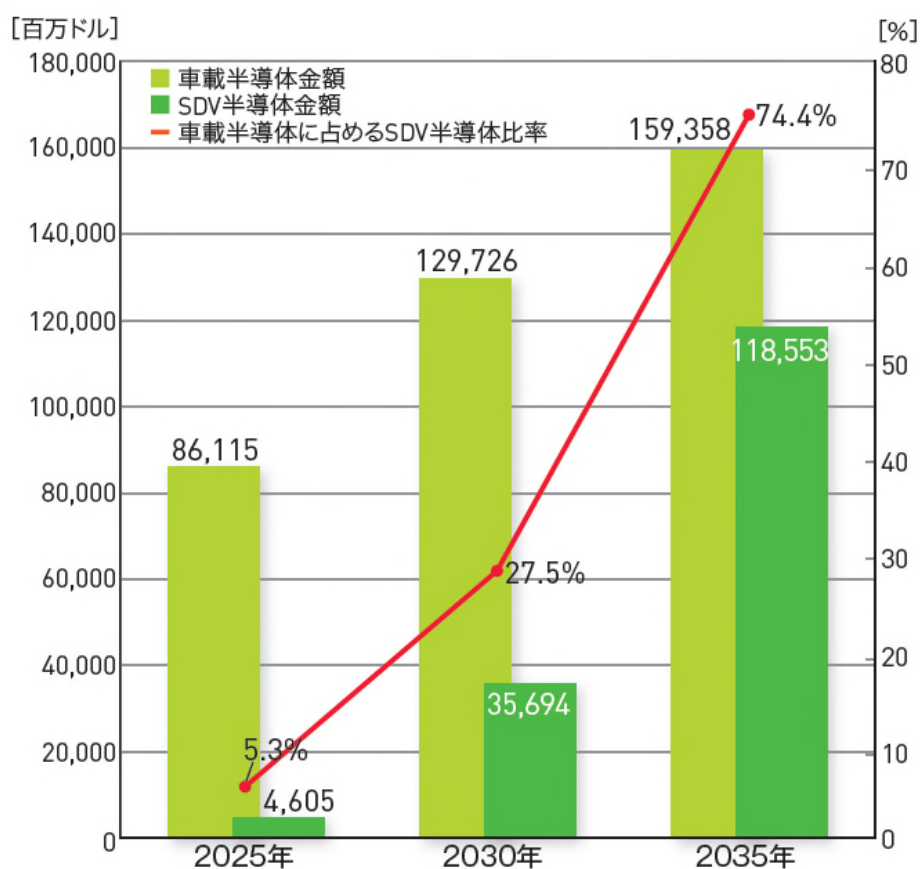
自動車に限らず、あらゆる産業においてソフトウェアの重要性が高まる中、ソフトウェアの実装を支えるキーデバイスが半導体と電子部品です。地政学リスクが高まる中、デバイス製造への大胆な投資や最先端技術の研究開発はこれからの社会においても必要不可欠であり、JEITA は半導体や電子部品、さらにはソフトウェアのすべてを網羅する業界団体として、産学官の連携・協業を加速させ、安心・安全の社会を支えてまいります。

今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

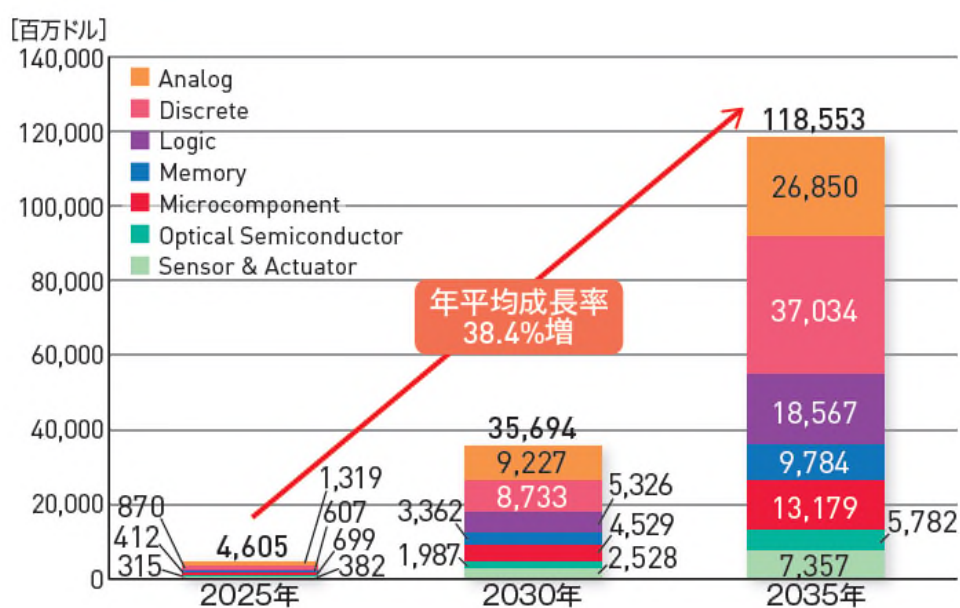
*1 世界の自動車生産台数と SDV 比率見通し



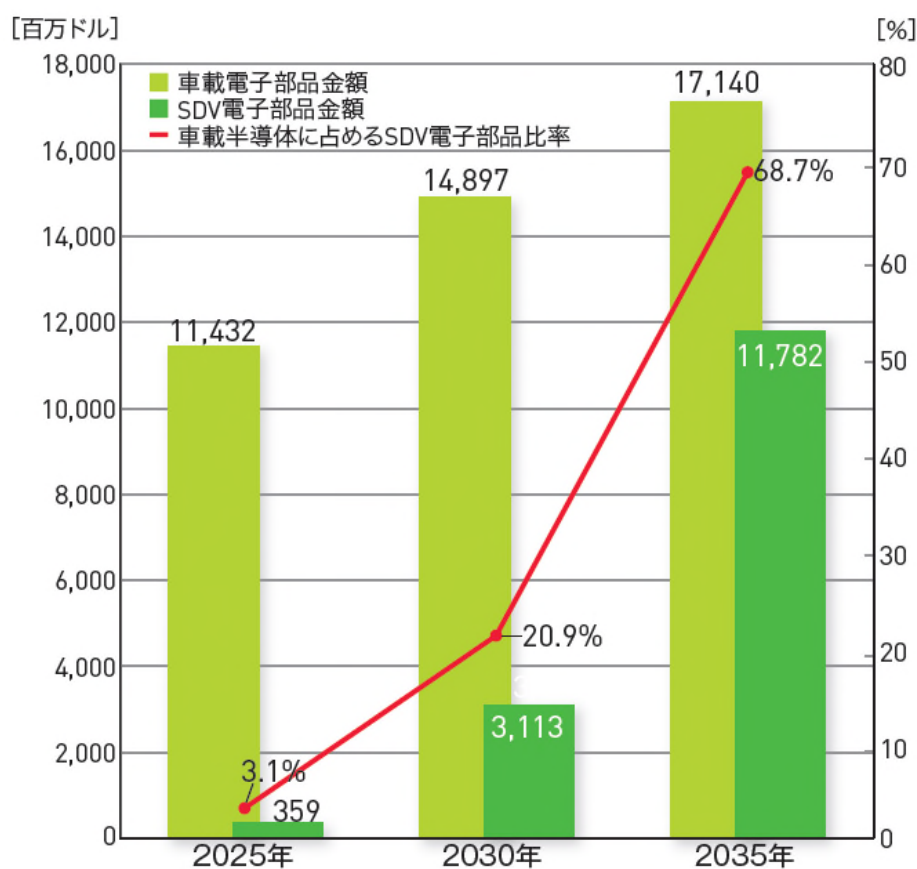
*2 車載半導体市場の世界需要額見通し



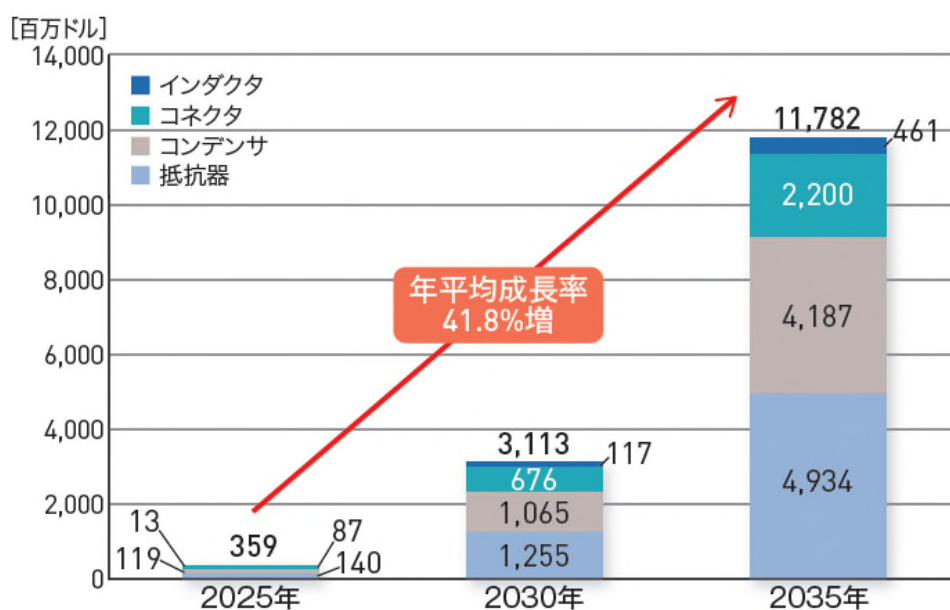
*3 SDV 半導体の種類別世界需要額見通し



*4 車載電子部品市場の世界需要額見通し



*5 SDV 電子部品の種類別世界需要額見通し



※平均為替レートは 2024 年：150.8 円/ドル、以降は 2024 年と同一とみなしています。

※本発表は JEITA が発行した『注目分野に関する動向調査 2024』（2024 年 12 月発行）にその詳細が報告されています。併せてご覧ください。

『注目分野に関する動向調査 2024』

〔発行〕 2024 年 12 月

〔編集〕 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)
総合政策部会／調査統計委員会／注目分野 TF

〔価格〕 3,300 円(税込)